

# ふるさと御所 文化財探訪

其の三十五

古墳時代 (23)  
葛城氏の盛衰  
葛城本宗家の  
滅亡② (12)

文化財課

☎60-1608



石垣 (居館側)

濠

石垣 (外側)

旧河道

濠

写真1 名柄遺跡の濠と石垣

名柄小学校の校舎及び体育館建築に伴い実施した名柄遺跡の発掘調査では、首長居館の一角を検出しました。石垣を持つ濠(写真1)に囲ま

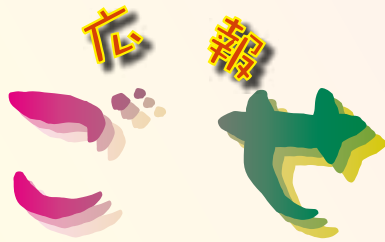


写真2 ミツ寺I遺跡復元模型  
(写真提供:かみつけの里博物館)

れた方形の区画は一辺100m程度と推測されます。写真の濠の幅が奥と手前で異なるのは矢掛けのために設けられた方形区画からの突出部に相当するためで、この箇所は現地に保存・復元されています。また、方形区画の内部には竪穴式住居や倉庫などが建っていたことも判っています。この居館は5世紀中葉に造られ、後葉には廃絶します。極めて短期間しか存続しなかったわけですが、その時期からみて、先月号で述べた円大臣の居館そのものであった可能性があります。円大臣らは館で焼死するのですが、現在知られる限りでは、名柄遺跡においては焼けた木材は若

名柄遺跡からの出土遺物には、特に木製品に目を見張るものがあります。写真3は刀の把(片手で握る部分)です。流麗なフォルムと機能美に目を引かれます。金銅板や金糸・銀糸などで飾り付ける直前の工程のものでしょう。劍の鞘や鉄滓(鍛造の時にできるカス)、漆が入った土師器壺なども出土していますので、刀劍そのものをここで作っていた可能性があります。

写真4は乗馬時の鞍の前後に立ち上る部分(前輪または後輪)です。一部の出土にとどまりましたが、当時どのような様子であったか判りません。



2011. 9

(文責 藤田和尊)



写真3 刀の把



写真4 馬の鞍

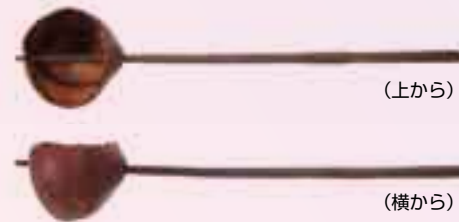


写真5 杓子